

書籍の企画書

タイトル

『きずなはつなぐ日々新たなり』

概要

新しい時代の魁（さきがけ）となる詩集
俳句でも短歌でも現代詩でもなく
一瞬に出てくるひらめきのことばを筆文字で書いて
瞬時に終わりとする
6～7年前から始めた朝の作業
これらの綴りを一冊の本として多くの方々に読んで頂け
ポジティブな言葉から悩みや不安を少しでも楽にして
新たな一步を踏み出す一助になったらと思う
親と子、教師と生徒、社長と社員それぞれとの絆が繋がり
日々新たな気持ちでスタート出来る
綴った五行詩やカタカムナ詩をア行からワ行までの章とし、
自由に開いたページからメッセージのように受け取り
日本語のことばのおもしろさ、短い文で遊ぶことを
楽しんでいつしか自分を整えることまで発展する

想定する読者ターゲット

60代から100代

人生後半をどう過ごすのか、長年の経験から社会に役立つ意識を持つ

30代から50代

直感による選択、自分の中のもう一人のワタシを引き出してくる

自分を整えていくやり方として利用

五十年とう
月日を共に
過ごした
尊い御縁
今ここに

鐘の
五行詩
R.6.69.
SEICHO

お香のけむり
ゆらゆら
生まれて消えて
美しく伸び
香っている



ああして
こうして
こうなった
いいのいいの
それで充分

せせらぎの音
静かにリズム良く
耳を澄ます
いつしか
清められて

ア行

- 1 ありがとうの
モグモグ
大変な時も
モグモグ
なんでもへっちゃら
- 2 ありがとうって
言ってるよ
聞こえてる
あなたの隣の
木や風が
- 3 今出来ることは
すぐにやって
次の出番を
そっと
待っている
- 4 驚いた
大きな声
なにがあったか
心配しても
ああそれか
- 5 ありがとう
ごめんなさい
ゆるしてください
あいしています
朝の庭歩きルーティーン
- 6 いつも一緒
それが嬉しい時と
いつもひとり
それも楽しいことが
わかってきた
- 7 うれしいことを
伝えたくて
走っていった
あらあらあらあら
どうしたの
- 8 いつもありがとう
本当に
うすっぺらに
聞こえたら
知らんぷり
- 9 ああして
こうして
こうなって
いつのまにやら
ひとのせい
- 10 浮かんでくることば達
どこに潜んでいたのか
フツとしてハツとして
仲間なのかも
いつでも出てきていいよ
- 11 美しいものと
知って
遠くからも眺め
まわりとの調和も
良い感じ
- 12 足を入れて
手を入れて
感じてみた
ふんわりして
くすぐったい

ア行

13 あったかくて
さむくって
風が音を
ビューン
いつもにぎやか

14 おいおいおいおい
だいじょぶかい
おっととっと
ころびそう
あぶない あぶない

15 石ごろごろ
歩きづらい
小石しゃりしゃり
音がして
清めて消えていく

16 美しいものと
ふれ合うことが
こちらにも
伝わって
うれしい氣になる

17 一歩先読み
目指して
みようか
ひらめきと
共に

18 集まる
そこに何かがある
人人人
もっとふくらましたくて
風船のようにパンパンに

19 大きな声は
いいですね
堂々としていて
ワタシはここを
感じます

20 色々あると
考えてしまうけれど
決められた道を
歩いているだけ
良くなるだけと

21 ああして
こうして
こうなった
いいのいいの
それで充分

22 お香のけむり
ゆらゆら
生まれて消えて
美しく伸びる
香っている

カ行

- 1 雲が流れる
そちらの空気を感じます
ひとりより二人
今日は誰かと
出会う予感
- 2 ことばによって
思考する
そのことばが
出てこないと
うーあーとなる
- 3 きれいなことば
使うだけで
心や顔まで
美しくなる
これ不思議
- 4 ぐぐっと
背筋を伸ばし
ハアーと首を後ろに
スワーと首を前に
なんともスッキリ
- 5 この人と同じかも
そんな風に
感じるものが
幼子の
無邪気
- 6 ことばで
おしゃれして
楽しんで
仲間と
ワイワイ
- 7 きちんとより
でたらめが
好きで
でこぼこを
歩いている
- 8 ここは
良いと
スーッと
軽くなり
地に足がつく
- 9 顔を見ずに
声を感じてみる
合うか合わないか
軽いか深いか
中々手厳しい
- 10 これが良いと
自分で決めて
動いていく
そのようになっていく
平和と感謝
- 11 ぐるっとひと回り
早朝のお清め
建物の倉庫に
何台もの車に
ごあいさつ
- 12 五十年という
月日を共に
過ごした
尊い御縁
今ここに

サ行

- 1 自分は誰
どのような人
わからないまま
いい顔してる
赤です黄色です
- 2 するっと
すべって
ぺったんこ
しりもちついて
のびちゃった
- 3 ささっとやってた
適当に
それいけないね
教えてくれた
レジの人
- 4 すっかり
お世話になりました
心地よい
音が響いて
体も心もゆるみました
- 5 知らず知らず
出会い
あることを知り
気づいていく
そっとそっと
- 6 時間に間に合わない
あわてることはない
自分の時間に
合わせると
丁度間に合う
- 7 そっと声をかけて
聞いてみる
どうだい
どうしてる
待ってたね
- 8 そこにしゃがみこんで
じっとしている
小石が友達なの
虫を探しているの
大きくなあれ
- 9 知らないことが
いっぱい
あって
これ初めてを
みつけない
- 10 そこに行こうと
思うのは
呼ばれたような
ひらめきが
従ってみる
- 11 そんなに夢中に
ならなくても
ああそれも
いいかも
ゆったり のんびり
- 12 そこに咲いている花を
きれいだなあと
思えることが
人として大切なこと
父からの教え

13 知らないのに

知ったかぶり

ちょっとだけなのに

エヘンと顔して

みんなおんなじだよ

14 そこに山があるから

登ってみよう

崖の頂上で

腹ばいになり

眺めてみる

15 サンクチュアリイ 聖域

奥の奥に

そっと足を踏み入れて

心地よい音を声を

聴きとってみたい

16 せせらぎの音

静かにリズム良く

耳を澄ます

いつしか

清められ

夕行

1 ツンとした朝

さわやかな気を感じ
さあ今日もがんばろう
スキップしながら
庭をひと回り

2 電車の揺れが

心地よく
遠くへ心運んでくれる
知らない街へ
ドキドキしながら

3 土を掘り

出てくる芋たち
蒸して干して
風に吹かれ
甘くなあれ

4 田植稲刈り黄金色

家から続く一本道
田んぼの向こうにポプラ並木
帆引船が行き交う湖
夕陽の光キラキラと

5 遠い日の記憶

坂をかけたぼって
高台の家に灯が
夕餉の楽しい団欒
眼下に霞ヶ浦

6 どんなにつらくても

ためされているのかも
あなたなら
がんばれる
それならばよしと

7 次はなんだ

母の意欲
計画を立て
実行していく
行事の大切さ

8 どっちが良いか

悩むことがある
こっち あっち
欲張って
あああ 消えちゃった

9 筑波山に登った小3の時

石段で集合写真
ぺたんとおすわりしているみんな
ひとりだけ出来なくて
キョトンとひとり体育すわり

10 小さな

オンリーワンの
石がそこに
さわってみる
出会ってみる

11 たまったものを

クリーンにする
吐き出すのでは
つらすぎる
共鳴していく

12 タッタッタター

走ってみた
どこに向かうのか
とりあえず
明るい方へ

13 竹がしなって
ゆれるように
ゆーら ゆーら
遊びが
一番

1 人間らしく

これは好き

あれは嫌い

聞いてくれる人が

いる幸せ

2 失くしもの探し

ガタガタ引き出し

あっちかこっちか

行ったり来たり

最初に思った所に

3 なるべく

ていねいな

生き方

カゴの中にきちんと

入れてくレジの人

4 七たす三は

十とう

統合する

そこに気づいた

誕生日

1 本当の話
聞いてあげる
うなづいて
いいのいいの
そんでいいの

7 人のしぐさって
見ていると
フッと笑いたくなる
ことばではなく
その人らしさがそこに

2 ひらひらと
舞う そのひらひらを
赤や黄色の
幼子にみたく
手のひらにのせる

8 ひっそりと
ひとり部屋で
いねむりして
目が覚めたら
別世界

3 ひと呼吸
この積み重ね
深くも浅くも
心がけ次第
今日も背筋伸ばして

9 ひとりでしか
感じられない
そんな場所
それが
私の聖域

4 久しぶりと
出会った友に
何から話そうか
声は高く
青春のひとこま

10 本がエネルギーだと
開いてみる
眺めてみる
すごいなあと
感じてみる

5 平地より山が
広々と見渡せる
海も川も湖まで
空もひとりじめ
寝ころんでみる

11 ひとりふたりさんにん
集まって
コソコソ話し
いつでも
たいしたことないのに

6 ほんの少しの幸せは
ここから出かけること
新しい景色を
眺めたら
もうひとりのワタシに出会える

12
ほっこりとして
その笑顔を
思い出す
やわらかいなあ
きびしいのに

1 まっすぐに
歩けなくて
ヨロヨロ クニャクニャ
行く道も
わたしだけのもの

- 1 ゆらぐ
ゆする
ゆっくり
聴こえる
音なき音

- 2 良かれと思って
やったことが
とんでもない
返事が来るとき
心がシーンとなる

- 3 ゆるゆる
ゆるんで
こんにちは
あなたもわたしも
ゆるゆる

- 4 やだって言って
へそを曲げる
アラアラとオロオロ
げんこつする人
どちらも良い人

- 5 山に登る
息がはげしく
足が止まる
空は高く
もう少し

- 6 やってみる
聞いてみる
話してみる
とんでもなく
世界が変わっていく

1 笑いに

ことばの矢が

放たれました

良くあることです

行き違い